

# 新年のご挨拶

# 新新聞徳

## 第65号 2015年1月

発行日：2014年12月31日(第1版第1刷)

### 目次

1面～2面  
新年のご挨拶

院長  
健康友の会会長  
看護部長  
事務長

3面  
秋の催事

平成26年度健康まつり  
ピアノコンサート

4面

人間ドック冬季キャンペーン  
職員の部活動紹介

### 医師・看護師を 目指す方へ

#### 徳洲会の奨学金制度を 利用しませんか？

#### ●対象

医学部入学予定または在学する学生、看護師等養成学校に入学予定または在学する学生で、卒業後に徳洲会グループ病院への入職を希望される方。

#### ●貸付限度額

- ・医学生 月額15万円
- ・看護学生 月額5万円  
(養成学校の修業年数)

#### ●返済の免除

免許取得後、貸付期間と同期間グループ病院に就業した際は全額返済免除。  
(給与は規定通り支給)

#### ●応募受付期間

随時受付しております。

詳しくは当院総務課まで  
お問合せください。

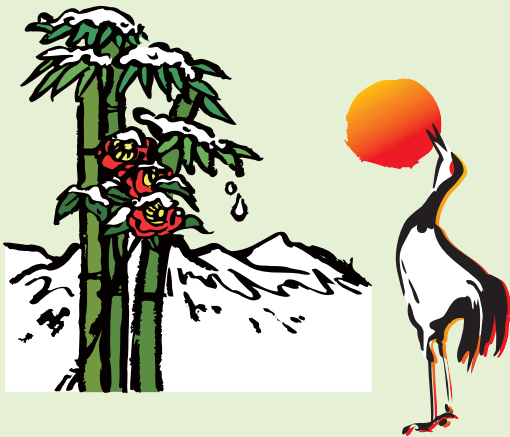
## 逆風の中、目指すは地道な地域医療



院長  
笹壁 弘嗣

新年あけましておめでとうございます。昨年は徳洲会にとって試練の年でした。選挙違反関係者は有罪判決を受け、メディアからは疑惑の資金を指摘され、グループの経営状態も悪化しました。厚労省の指導や国税庁の調査はこれからも続くことが予想されます。

当院を取り巻く環境も厳しく、慢性的な医師・薬剤師・看護師不足はもとより、人口減少と介護施設増加による入院患者数の減少は予想を超えるものがあります。県内でも過剰ベッドが最も多い地域と考えられており、当院だけでなく、新庄最上地域の医療体制が今後大きく変わる可能性があります。その中で、当院は地道に地域医



療を行うことを目指してきました。医療は共同体が存立するための根本システムの一つであり、市場原理や空虚な宣伝が入り込んではありません。他の医療機関とも連携して、地域のニーズに応えるように、ひたすら地道にやっていきたくありません。今年もよろしく願います。



健康友の会会長  
柿崎 孝一

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ご承知の通り、昨年来、我々生活者を取り巻く環境はますます変化の激しい時代を迎え、世界情勢は全く予断の許されない状況でございます。また、日本の国内だけを見ても雇用問題、景気問題、年金問題と難問が山積しておりますが、まずはこうして無事に新しい年を迎えることができたことを感謝する気持ちだけは大切にしたいと思っております。

もともと正月は、お供えをし、歳神様をまつる儀式であり、この一年の豊作と、家族の健康を祈るための儀式です。正月を迎えることが一つの区切りであり、昔から

正月を迎えると、無事に新しい年を迎えたことを心から喜び、歳を重ねてきたのではないのでしょうか。こうした大変な時代だからこそ、改めて日本の暮らしの良さや伝統を見直し、この新しい年と一緒に迎えられることを、率直に感謝したいと思います。

次の世代や、百年先、千年先の命まで、我々が育ってきた自然環境や歴史や文化を次の世代へ残すためにも、我々に課せられた責務ではないでしょうか。

皆様にとりまして、この新しい年がより佳き年でありませう心から祈念いたします。また、今後とも本会に対し、ご理解とご協力を賜ります様お願いいたし、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。



# 新年のご挨拶

前進あるのみ!!



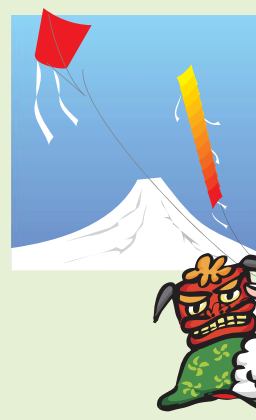
看護部長  
安食 るみ

新年明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は一連の徳洲会の問題で皆様には多大なご迷惑をお掛け致し、大きな不安を与えてしまいました。正直、私どもにとっても不

安な一年のスタート、そして信頼回復へのスタートでもありました。「信頼回復のために何ができるか、何をすべきか。それは今まで通り、自分たちが行ってきた医療・看護・介護を、患者さんそして地域の方に提供していくこと。」と院長の言葉を受け、職員一同気持ちを強く持ち一年を過ごしてきました。これからも、この思いを持ち続け前進して行きたいと思っております。

周囲の介護施設の増加や人口の減少などの影響もあり、入院患者数の減少という厳しい現状はあり



ますが、苦境を一緒に乗り越えてくれた職員と共に、他の医療機関と連携し、より一層地域医療の充実に努めていきたいと思っております。本年もよろしくお願い致します。



事務長  
成田 政彦

「最上の医療福祉がより充実する将来に向かって」

昨年、事務長という立場で病院の経営を預かる者にとってはハラハラする一年でした。

病院の収益は、外来患者さんや入院患者さんを治療して入ってくる保険収入、患者さんご自身からいただく個人負担分で成り立っているわけなので、患者さんの数が減少すれば収入も減ります。

昨年までの入院患者数を見てみると、平成22年には一日平均

229人の患者さんが入院していたのが平成26年には166人にまで下がってしまいました。これだけ減少した要因は当院自体の問題（医師不足など）ももちろんあるとは思いますが、一番大きな要因は介護施設が増えたことではないかと考えております。

平成22年から昨年まで、当グループで開設した梅花苑や「ふきのとう」も含めて、最上管内と尾花沢・大石田で計25施設が新規開設もしくは増床し、合計512床が増えました。

当院のように急性期の治療もするけれど、慢性期の患者さん



も入院している病院には特養待機者も入院しているのです、そのような患者さんの受け皿が増えることは喜ばしいことではあります。その分、入院患者さんが減り、収益も減少するという結果になります。

今後、施設入所中の方や自宅療養中の方々のために、訪問看護・訪問リハビリなどにお力を入れていきたいと思っております。

## 自宅でご家族を介護されている方、こんな悩みはありませんか？

### ①「栄養」や「食事」に関する悩み

- ・ 食事の管理がうまくいかず、病状や身体機能が悪化。
- ・ 食べやすい食事の工夫を知りたい。
- ・ 食欲が無く、食事量が減ってきている。
- ・ 食べたり、飲んだりすると、すぐにむせる。
- ・ 栄養剤を処方されたが、なかなか飲めない。



### ②「床ずれ」に関する悩み

- ・ 床ずれができた時の対応。
- ・ お尻や踵が赤くなっていて心配だ。
- ・ 最近寝たきり状態になり、床ずれが不安だ。
- ・ 皮膚が弱くて、介護方法に困っている。
- ・ 床ずれを作らないために注意すべき事が知りたい。



上のような悩みをお持ちの方は、下記の窓口へご相談ください。ご自宅に訪問し、ケアの指導をすることも可能です。

### ①「栄養」や「食事」のご相談窓口 (訪問栄養食事指導)

(担当) 栄養管理室 管理栄養士

齋藤 広美

### ②「床ずれ」のご相談窓口 (床ずれ予防指導)

(担当) 創傷管理室 皮膚・排泄ケア認定看護師

八鍬 恵美

<お問合せ>

電話 0233-23-3434(代) FAX 0233-23-3500(代)

# 院内の出来事

当院の秋はイベントの季節。恒例の「健康まつり」や「ピアノコンサート」など行事が続きました。



## 暑かった健康まつり

9月28日(日)、「頑張ろう! 最上!!」地域と共に」というテーマで平成26年度健康まつりを開催。夏のように日差しが強い1日でしたが、約8000名の方々にご来場いただきました。ありがとうございました。

まつりの始まりを告げるのは、地元鳥越若連の皆さんによる「新庄囃子」の音色と観客席の隣にずらりと並んだ模擬店から漂う香ばしい匂い。お囃子の音色に合わせ、当院付属ピノキオ保育園児達に引張られたミニ山車が会場を練り歩くと、開会前から大いに盛り上がりました。

特設ステージは、ピノキオ保育園の元気いっぱい踊りに続いて、はぐみ保育園の太鼓演奏、その後は徳洲会ソーランガールや伊藤美代子さん、新庄民舞りボンの会の皆さん、戸沢村古口婦人会の皆さん、角川太鼓の皆さん、そして荒沢裕子さんと泉耕さんと続きました。出演していただいた皆さんありがとうございました。

最後は、お待ちかねの抽選会。会場の皆さんは、抽選番号入りのまつりチラシを握りしめ、ステージを見つめています。次回の健康まつりも皆さんのご来場をお待ちしております。



## ピアノの音色と歌声響く、秋の院内コンサート

11月20日(木)は、ピアノスト岳本恭治さんと山季布枝さんを招いて、当院1階の通所リハビリテーションを会場に「秋の院内ピアノコンサート」を昼夜2回開催しました。

昼の部では、シューベルトの「楽興の時」やショパンの「ワルツ」などを独奏で、またクラリスラーの「愛の喜び」やサウンド・オブ・ミュージックの「エーデルワイス」などを連弾で演奏し

ていただきました。恒例の「歌のコーナー」では、お馴染みの「青い山脈」などに加え、「冬景色」「もみじ(輪唱)」を山季さんの演奏で会場の皆さんで歌いました。最後に通所リハビリ利用者さんからのリクエスト曲が演奏され、大盛り上がりで終了しました。

一方、夜の部は、ショパンの「エチュード」やメンデルスゾーンの「イタリア」、そして大ヒットした映画「アナと雪の女王」から「レット・イット・ゴー」などの演奏が披露されました。演奏の間には、楽曲や作曲家について岳本さんから教えていただきました。

岳本さん、山季さん素敵なおピアノ演奏本当にありがとうございました。



## あなたのお口の中は、大丈夫ですか？

### 「お口の中」の悩み

- ・グラグラ動く歯、痛い歯がある。
- ・口の臭いがひどい。
- ・歯ぐき、あごの内側に傷がある。

### 「入れ歯」の悩み

- ・バネが折れた、割れた。
- ・ゆるくてすぐ落ちる。
- ・合っていない、噛めない、痛い。

### 「飲み込み」の悩み

- ・食べる時、飲む時にムセがひどい。
- ・食後ガラガラ声になる。
- ・なかなか飲み込めない。

### 「在宅口腔ケア・リハビリ」で行うこと

#### 歯科治療

- 歯科機材をご自宅・施設に運んで治療します。
- ・入れ歯の調整、修理、作製
  - ・抜歯
  - ・一般的な歯科治療

#### 口腔ケア・リハビリテーション

- 口腔ケア
- ・口臭や誤嚥性肺炎等の予防
- 口腔機能向上のための訓練
- ・飲み込みの改善
  - ・ムセの防止 など

上のような悩みをお持ちで、歯科医院に通院できない方は、歯科医や歯科衛生士がご自宅や施設へ訪問し、診療を行う「在宅口腔ケア・リハビリ」をご利用ください。まずはお気軽にご相談ください。



ご相談窓口 (担当) 歯科口腔外科

電話 0233-23-3434(代)

FAX 0233-23-3500(代)

医療講演

各地で開催した無料医療講演、  
2014年の参加者数は2198名



最上地方の8市町村に加え、大石田町や尾花沢市の公民館や学校、施設などを会場に、2014年も無料の医療講演を開催しました。12月10日時点で年間の開催件数は157件、参加人数は2198名となりました。たくさんのご参加ありがとうございました。

お知らせ

健康友の会会員限定、  
人間ドック冬季キャンペーンのご案内



2015年1月から3月の期間中、健康友の会会員に限り人間ドックを特別料金で受診できます。友の会へのご入会は、受診当日でも可能。予約に限りがありますので、お早めにお申し込みください。ご予約・お問い合わせは、健康管理センターまで。



お馴染み「徳洲会ソーランガール」の他にも当院では職員間の交流を深めるため、休日や勤務終了後にスポーツ等の部活動を行っています。2014年の活動の様子をご紹介します。

釣り倶楽部



9月27日(土)、釣り倶楽部は「2014 エギングパーティー in 庄内」に参加。180名もの方々が参加したこの大会で、優勝したのは、1杯の重量なんと530グラムを釣り上げた同倶楽部の小嶋選手。賞状や賞品などを獲得し、さらに他の選手も上位に入り、とても充実した休日になったようです。

※エギング…イカを釣る釣法の一種



と老健連合チーム、さらに宮城県から仙台徳洲会病院と仙台徳洲看護専門学校、新潟県から山北徳洲会病院。全10チームによるトーナメントを制したのは、決勝で前年優勝の山形徳洲会病院Aチームを倒した当院Bチーム。地元開催ながら決勝で敗れた前回大会の雪辱を果たす形となりました。

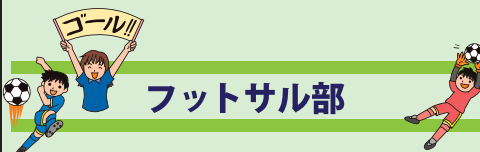


場の真室川町民総合体育館2階アリーナに集まったのは約60名の選手達。開幕戦の新庄Aチーム对新庄Bチームを皮切りに、参加6チームによるリーグ戦全15試合の熱い戦いが続きました。



優勝は、全勝で大会連覇を達成した山形Aチーム。一方、新庄Aチームは0勝1分4敗の最下位、そして新庄Bチームが0勝4分1敗の第5位。出場2チームで1勝もできないという非常に残念な結果でした。そんな中、一人気を吐いたのが新庄Bチームの津藤選手。5試合で10得点を記録し見事大会得点王に輝きました。

フットサル部



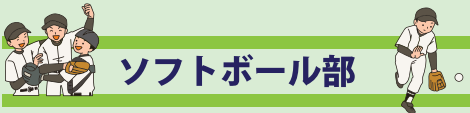
ソフトボール同様「徳洲会東北ブロック大会優勝」が目標です。

特に今年度の大会は地元開催であるため、新庄市や最上町、真室川町の体育館を利用し、例年以上の練習を重ね、当院職員に徳洲会グループ施設「介護老人保健施設梅花苑」や「グループホームふきのとう」の職員を加えた新庄Aチームと、臨床工学科に医事課と総務課を加えた新庄Bチームで大会へ挑みました。

11月30日(日)の大会当日、会



ソフトボール部



ソフトボール部は、毎年秋に開催される「徳洲会東北ブロック大会優勝」を目標に、大会2カ月前位から新庄中核工業団地内の福田運動広場で夜間練習に励んでいます。

今年度の大会は、10月5日(日)庄内町の八幡スポーツ公園内ソフトボール場・多目的広場で開催。参加したのは、県内から当院や山形徳洲会病院、そして地元の庄内余目病院

その他の活動



- ・自転車4時間耐久レースへの参加
- ・職員ゴルフコンペの開催